



## 寄港地活動

### 学習のねらい

- 寄港地の街並みや歴史・人々の営みに興味・関心をもつことができる。
- びわ湖の様子を見ることを通して、自然環境について考えることができる。
- 仲間と協力して活動することができる。

### 準備物

#### うみのこ船内で準備できるもの

- ・ピブス
- ・探検ボード
- ・トランシーバ（８台）
- ・引率者用腕章
- ・自転車（必要な場合）
- ・（タブレットPC）

#### 乗船校で準備するもの

- ・寄港地の問題
- ・寄港地の地図

### 主な学習の流れ

### ポイント（○）及び留意点（☆）

	主な学習の流れ	ポイント（○）及び留意点（☆）
はじめ	1. 本学習のめあてを確認する。  2. 活動についての留意点を確認する。	☆乗下船や寄港地活動の開始・終了の際に、教職員の目で人数確認を行う。 ☆事前に十分な現地の下見を行い、安全に活動できるよう配慮する。 ○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識して示す。 ○活動のポイントや危険個所など、活動を行う際の留意事項を確認できるようにする。
なか	3. 寄港地活動を行う。	○各チェックポイントに監視の担当がつけるようにする。 ☆チェックポイントごとの留意点をそれぞれの担当者が十分に把握しておく。 ☆施設に入館する場合は、入館できていない児童がいないように、確実に児童の出入りを確認する。 ☆全体指導として、自転車を利用することもできる。 ☆各班に <u>（タブレットPC）</u> を渡し、寄港地の様子を記録することも可能である。
おわり	4. 寄港地活動の結果を知る。  5. 本学習のまとめをする。	○クイズ等を行う場合は、答えや結果を伝える。  ○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識してまとめができるようにする。 ○学習のまとめ②や乗船後の学習につながるようにする。

（※１）活動場所・・・ 各寄港地

（※２）実施時期・・・ 通年

※うみのこ船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。